

<b>授業科目名</b>	日本語教育実習事前事後指導(2100526)		
<b>時間割名</b>	日本語教育実習事前事後指導(70146)		
<b>時間割担当</b>	鳥谷善史		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 選択
<b>曜日・時限</b>	集中		

### 授業の目標・概要

日本語教育の現場における実習を行うための準備として、語学能力の最終チェックと、実習に必要な心構えや記録の取り方、観察、授業の方法などについて、講義や模擬授業などを通して習得する。実習後においては、報告書の書き方や、実習において学んだことの交流などを行う。

### 学習の到達目標

初級・中級・上級といった様々な学習者のレベルに応じた、教案作成及び模擬授業ができるようになる。また、教案作成と模擬授業を通して、自身の日本語の知識や能力について再認識し、不足している知識を補う。

### 授業方法・形式

講義と演習（模擬授業）形式

### 授業計画

- 第1回 異文化理解
- 第2回 教案作成(1)
- 第3回 教案作成(2)
- 第4回 教案作成(3)
- 第5回 教案作成(4)
- 第6回 教案作成(5)
- 第7回 模擬授業(1)
- 第8回 模擬授業(2)
- 第9回 模擬授業(3)
- 第10回 模擬授業(4)
- 第11回 模擬授業(5)
- 第12回 模擬授業(6)
- 第13回 模擬授業(7)
- 第14回 模擬授業(8)
- 第15回 まとめと反省会

### 成績評価の基準

教案作成：40% 模擬授業：40% 積極的な学習活動：20%

### 授業時間外の課題

教案作成及び模擬授業に際しては、最低5時間程度の予習時間がかかるものと思われる。各自しっかりと時間を確保し教案作成及び予習にあたってほしい。

### メッセージ

基本的に欠席は認めない。  
受講生の多寡により授業計画の一部を変更することがある。  
なお、この授業をもとに「日本語教育実習」に参加してもらおう。

### 教材・教科書

高見澤孟(2016)『増補改訂版 新・はじめての日本語教育1 日本語教育の基礎知識』アスク出版  
高見澤孟(2016)『増補改訂版 新・はじめての日本語教育2 日本語教授法入門』アスク出版  
田中よね他(2012)『みんなの日本語 初級 第2版 本冊』スリーエーネットワーク

### 参考書

適宜、授業内で紹介する。